

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	横浜自然観察の森友の会
活動タイトル	自然と人の良好な関係が着実に広がっていくように「いきもののにぎわいのある森づくり」
活動地域	神奈川県横浜市栄区



2023/8/26 スギ・ヒノキ人工林作業道の整備

### 【活動の目的・目標】

横浜の森をまもる活動を末永く進めていくため、成果を観える形にして行きたい。例えば、人工林エリアの希少植物（コクランやエビネなど）の植生拡大や子供たちが楽しめる草原エリアの確保、理想的な雑木林への育成等々、地域（来園者）の方々に意見を聞く機会をなるべく増やしなが、会員も増やしたい。



2023/8/5 雑木林にて粗朶柵づくり

### 【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

森のボランティア活動を楽しく、行ってもらうため、主要な森の保全作業は大勢集まった時に実施し、より活動を理解してもらっている。また、前後のミーティングを充実、勉強会の実施、木工を行いながら木に親しんでもらう、など木の伐採・草刈などの主要作業以外でも森の活動の面白さを理解してもらっている。



2023/6/24 雑木林にて、クヌギの大木を除伐

### 【活動の内容・成果】

開催回数：57

参加人数：765

達成率：98%（台風により1回休止）

今まで行ってきた雑木林の樹木植生調査を踏まえ、常緑樹や大径化したクヌギの除伐をメンバーで行った。この2年間で、10人の新入会員が増えたため、木の伐採作業も技術の伝承を行いながら実施している。除伐後の木の処理も、景観を考慮し、この数年、粗朶柵（そださく）づくりを行ってきており、作業も習熟し、林の環境も良くなっている。市民のボランティア活動への理解については、木工品の展示等をしなが、来園者と自然や木の話をするということによって、ボランティア活動の宣伝になっている。また、この場所に来れば、自然の話が出来るという面で、リピーターも増えてると言う形で、良い方向に行っていると思う。

### 【団体概要】

横浜自然観察の森友の会 は、「横浜自然観察の森」を、中心にして、市民ボランティアグループが、ここを訪れる人達と一緒に、自然とふれあい自然を守り育てながら自然環境の大切さを学んでいます。そして、自然を愛する人たちの輪が広がって行くことを願いつつ、森の管理・調査・学習などの様々な活動を行っています。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



少しでも地域社会との交流出来ればと、森の恵みを活用した木工品や炭などを展示し、来園者と森の話などを積極的に行っている。連休中等を利用して、年に2-3回、公園内の炭小屋拠点にて開催している。



森のボランティア活動として行っている保全作業を体験して貰うために、一般参加の森の作業体験イベントを年4回行っている。最近は、森の恵みを用いた木工制作や火起こし作業体験を取り入れている。

今後は杉玉づくりなどの興味を引く体験も試行して、家族連れで参加できるイベントも、企画中である。



炭焼き本窯の炭材装入作業。技能継承を兼ねて年2回実施しているが、技を残していくためには参加者が減少している課題がある。6月には他所の炭窯解体の手伝いにメンバーが参加して、炭窯構造などを勉強することが出来て有意義であったと思う。一般の方にも、簡単に炭焼き体験を実際に行ってもらえないか、企画中である。



森の恵みの利活用の幅を拡げるため、今まで挑戦したことが無い新たな木工品を試作中。来園者に、より興味をもって木に親んでもらうため、木の良さを理解してもらおう工夫を重ねていきたいと思う。